# ■地球上の核弾頭全データ

### 2014年8月

## 【解説】

核弾頭について公的な情報が出はじめたとはいえ、まだ まだ公開性は不十分である。2008年3月21日に核弾頭の総 数を300以下に減らせる予定と発表したフランス政府は、 12年5月3日、核不拡散条約(NPT)再検討準備委員会におい て、その削減の完了を報告した。米国政府は10年5月3日、全 備蓄核弾頭数を5.113発とするとともに、その数の年毎の変 遷を公表した。14年4月29日には、それをアップデートし、 13年9月現在、4,804発とした。また、米国は11年3月1日から 半年ごとに戦略兵器削減条約(START)交換データにおける 運搬手段の内訳と核弾頭総数をすべて公開している。10年 5月26日、英国政府は議会に対して備蓄核弾頭は将来225発 を超えず、作戦に供する核弾頭数は160発以下であると発表 した。

2010年5月3日の米国防総省ファクトシートは、02年核態 勢見直し(NPR)と同様、弾頭の保管状態を「活性状態」と「不 活性状態」に大別している。前者はそのまま使用できる弾 頭であり、後者は時間が経過すると劣化するトリチウムや 電池などを除いて貯蔵している弾頭である。この点も含め て、本誌で行ってきた従来の弾頭の分類方法を今回も踏襲 する。ただ、米国で明らかになっているこのような分類方法 が、その他の国でどこまで通用するかは、必ずしも明らかで はなく、以下のデータ整理では便宜的なものにならざるを えない。注記によって、それを可能な限り補った。

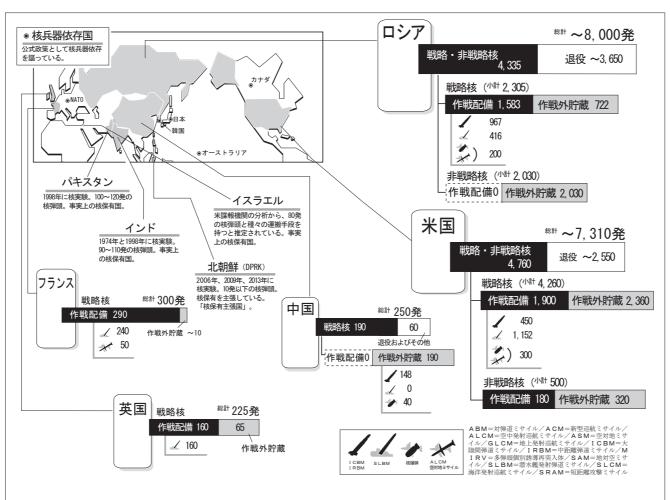
- ①作戦配備の弾頭 部隊に配備・貯蔵されている活性 状態の弾頭。(ただし、オーバーホール中の原潜の核弾 頭は作戦配備に含めない。)
- ②兵站予備の弾頭 ルーチン整備・検査のために確保 されている活性状態にあるスペアである。米国の戦略 核兵器については推定するための一定の情報がある。 概ね①の5~10%である。
- ③予備貯蔵の弾頭 活性、不活性を含め、再使用の可能 性を想定して貯蔵しているもの。迅速対応戦力もこれ に含めた。迅速対応戦力とは、作戦配備から外した核弾 頭の中でも情勢の変化によって復活させることを前提 として活性状態で貯蔵するものである。
- ④退役弾頭 運搬手段から外され解体を前提に保管さ れている核弾頭。
- 以下の図表の作成においては、②と③を合わせて「作戦外 貯蔵」とする。

2012年になり、中国においては、作戦配備された戦略核の 運搬手段に核弾頭は搭載されず、分離して貯蔵されている ことが明らかになった。貯蔵のされ方の詳細は不明である。 したがって、米口の概念での作戦配備弾頭はゼロになる。

米国では、他に、弾頭の形ではなくて、一次爆発用プルト ニウム・ピット20,000発と二次爆発部分5000発を分離して 貯蔵しているとされる。

北朝鮮(DPRK)は3度の核実験を行い、衛星発射に成功し、 核保有国であると主張しているが、弾頭化/兵器化に関し ては情報がない。本図説では従来通り「核保有主張国」と位 置づけた。

事実上の核兵器保有国と見なされるインド、パキスタン、 イスラエルを含めると、地球上には今なお16,400発を超え る核弾頭があり、オーバーキル状態は変わらない。



# NPT 加盟核保有国の核弾頭数

	•••							
		弾頭の分類	米		英	仏	中	合計
戦略	作戦配備	ICBM/IRBM	450	967	0	0	0	1,420
		SLBM	1,152	416	160	240	0	1,970
		爆撃機搭載核兵器	300	200	0	50	0	550
核	מחע	小計	1,900	1,583	160	290	0	3,930
	作戦外貯蔵		2,360	722	65	~10	190	3,350
	小 計		4,260	2,305	225	300	190	7,280
非	作戦	配備 空軍航空機	180	0	0	0	0	180
戦略	作戦外貯蔵		320	2,030	0	0	0	2,350
核	小 計		500	2,030	0	0	0	2,530
	合 計		4,760	4,335	225	300	190	9,810
	退役	设およびその他 <sup>*</sup>	~2,550	~3,650	0	0	60	6,260
		総計	~7,310	~8,000	225	300	250	16,085
	(うち	5作戦外貯蔵小計)	(2,680)	(2,752)	(65)	(~10)	(190)	(5,697)

\_\_\_\_\_ 丸めのため合計にくい違いがある。 \*米口に関しては退役弾頭、中国に関しては退役、未配備など内容は不明確。

米国 (計~7,310) 核弾頭数 核兵器の名称 戦略・非戦略核 (合計 4,760) ■戦略核 (小計 4,260) 【作戦配備(小計1.900)】 ●ICBM (小計450) ミニットマンⅢ 450 Mk-12A 型 (弾頭:W78) 335  $200^{1}$  $250^{2}$ Mk-21 型(弾頭:W87) 300 ● SLBM<sup>3</sup> (小計1.152) トライデントⅡ D5  $1.152^4$ 100 Mk-4型(弾頭:W76) 268 Mk-4A型(弾頭:W76-1)  $500^{5}$ 100 Mk-5型(弾頭:W88) 455 384 ▶ 爆撃機搭載核兵器<sup>6</sup> (小計300) 核爆弾 B61-7 可変<1~360 B61-117  $100^{8}$ 可変<1,200 B83-1 ALCM (弾頭:W80-1)95~150 200 【作戦外貯蔵(小計2,360)】<sup>1</sup> 非戦略核(小計500) 【作戦配備空軍航空機(小計180)】 核爆弾 B61-3、4  $0.3 \sim 170$  $180^{11}$ 【作戦外貯蔵(小計320)】  $320^{12}$ B61-3,4 退役 (小計 ~2,550)

- 1 単弾頭化が完了したものが200基
- 単弾頭が250基。W62を置きかえている。
- オハイオ級戦略原潜12隻に搭載。ミサイル数は288基(12× 24)。原潜数は14隻であるが、常時2隻はオーバーホール。
- 4 12隻×24発射管×4MIRV。12年3月1日のSTARTデータで は、1.115~1.165と推定される
- 5 W76-1は2008年10月末から配備が始まった。W76からの置き 換えが続いている
- 6 ストラトフォートレスB-52H(93機のうちの44機)、スピリッ トB-2A(20機のうちの16機)、計60機が任務(核・非核両用)に ついている。B-2Aは爆弾のみ。警戒態勢は低い。
- 7 地中貫通型(1997年11月に導入)。貫通は6m。B-2Aにのみ搭載。
- 9 B52Hのみ
- 10 常時オーバーホール中の2隻のオハイオ級原潜のトライデン ト弾頭48基、192発。数100の核爆弾と巡航ミサイル。戦略核の 7.5%として兵站予備150発など。
- 11 迅速対応戦力も含めて180個がNATO軍用としてヨーロッパ 5か国の6か所の空軍基地に配備(別表参照)
- 12 米国内に貯蔵。ヨーロッパ配備のものを含めると計500発が ある。トマホークSLCM W80-0弾頭260発は退役した。

#### (兵器の名称は「NATO命名(ロシア名) 2014年8月

1 10MTRV×46基。STARTIIが無効になり保持。しかし削減が続く。 液体燃料。2026年まで保持の見込み。 6MIRV×30基。削減する計画。液体燃料。

ロシア (計~8,000)

SS-18 M6,  $\#9 \times (RS-20)$  500~800 460<sup>1</sup>

400

800

800

800

100

100

250

10

low

500

1000

low

200~500

 $100 \quad 320^{10}$ 

 $200^{13}$ 

68<sup>1</sup>

340

17

 $730^{16}$ 

700

150

24

 $180^{2}$ 

 $117^{3}$ 

60

 $18^{5}$ 

 $132^{6}$ 

戦略・非戦略核(合計 4,335)

■戦略核 (小計 2,305)

SS-19 M3、スチレトウ(RS-18)

SS-25、シックル(RS-12M、トーポリ)

SS-27 I 型(RS-12M2、トーポリM)

SS-27 I 型(RS-12M1、トーポリM)

SS-N-18 M1、スチングレイ(RSM-50) 50

SS-N-23M1(RSM-54、シネバ)

(ライナー)<sup>12</sup>

SS-N-32(RSM-56、ブラバ)

●爆撃機搭載核兵器(小計200)

ALCM (弾頭: AS15A、B)

非戦略核 (小計 2,030)

SRAM (弾頭:AS16)

【作戦配備(小計O)】1

ガゼル (53T6)

SA-10、グランブル

SA-12、グロウラー

セパル (レダト)

/SRAM AS-16

核爆弾

SLCM

【作戦外貯蔵(小計722)】

【作戦外貯蔵(小計2,030)】

● ABM/SAM (小計425)

●空軍航空機(小計730)

●海軍用戦術核(小計700)

ASM AS-4、キッチン

● 地上発射 (小計174)

SS-21、スカラブ(トチカ)

■ 退役 (小計 ~3,650)

核爆弾/ASM AS-4、キッチン 1000

対潜核兵器、SAM、核魚雷、核爆雷

SS-26、ストーン(イスカンデル) low

SS-27 II 型(RS-24、ヤルス)

SS-27 II 型 (RS-24、ヤルス)?

● SLBM (小計416)<sup>8</sup>

核爆强

【作戦配備(小計1,583)】

●ICBM (小計967)

核兵器の名称

- 単弾頭。ロシア名トーポリ。道路移動型で固体燃料。09年に2回の発 射テスト(4月20日、12月10日)。
  - 単弾頭。サイロ型。軌道を変更できる弾頭もある。
- トーポリMの移動型。新しいカモフラージ
- 6 RS-24という新型名で08年11月26日に試射成功。移動型。 推定4MIRV×33。10年7月19日にポポフキン国防省第1次官が初配 備されたと発表した。
- 8 搭載原潜は、デルタⅢ級2隻、デルタⅣ級6隻。核ミサイルを搭載しな
- いが、タイフーン級3隻も残っており、発射テストに使われている。 デルタⅢ級戦略原潜2隻に搭載。2隻×16発射管×3MIRV。10年10月 28日に発射テスト
- 10 デルタ収級戦略原潜6隻に搭載。ただし2隻がオーバーホール中の ため配備弾頭数は5隻×16発射管×4MIRV。10年8月6日、10月28日 に発射テスト。10MIRVの能力があるとの情報もある。
- 11 6MTRVと推定される。08年9月、潜水発射に成功。1.か1、09年は2回 発射テストに失敗。10年10月7日、10月29日、更に11年6月28日、8月27 日、12月23日、発射テストに成功。ブラバは開発中で14年に作戦配備 の予定。新型のボレイ型原港に配備。
- 12 9~12MIRVを開発中。11年5月20日、9月29日に発射テストに成功。
- 13 ベアH6(Tu-95MS6)29機、ベアH16(Tu-95MS16)30機、ブラ ジャック(Tu-160)13機の計72機のうち60機に搭載。ベアH6は1機 あたりAS15Aまたは核爆弾を6個(計174個)、ベアH16は1機あたり AS15Aまたは核爆弾を16個(計480個)、ブラックジャックはAS15Bま たはAS16、または核爆弾を12個(計156個)搭載する。基本的に貯蔵さ れており、航空機に配備されていない。2つの基地に数100の弾頭を配
- 14 ロシアの戦術核は全て中央貯蔵されていると申告された 15 ゴーゴン・ミサイルはABM任務からはずされた。
- 16 バックファイヤー(Tu-22)、フェンサー(Su-24)、フルバック(Su-34) に搭載。

ヨーロッパ配備の米核爆弾

2014年8月

		1+++p.16%	核爆弹		
国名	基地	搭載機 (所属国)	米国 分担		
ベルギー	クライネ・ブローゲル	F-16(ベルギー)	0	20	20
ドイツ	ビュヒェル	PA-200(独)**	0	20	20
イタリア	アビアノ	F-16C/D(米)	50	0	50
1797	ゲディ・トーレ	PA-200(伊)*	0	20	20
オランダ	フォルケル	F-16(蘭)	0	20	20
トルコ	インジルリク	F-16C/D(米)	50	0	50
	合計	100	80	180	

(表注)\*PA-200は、米独伊共同開発の戦闘爆撃機で、「トルネード」と通称される。

出典: 「ニュークリア・ノートブック」(『ブレティン・オブ・ジ・アトミック・サ イエンティスツ』に連載)を基本にしながら、S・ノリス(天然資源保護評議会 (NRDC、米国))、H·クリステンセン(全米科学者連盟(FAS))、パベル・ポド ビック(ロシア戦略核戦力プロジェクト、ロシア)、イアン・カーンズ(英米安全 保障情報協議会(BASIC。英国)などの文献、米口政府の新STARTに基くファク トシート、及び長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)核弾頭データ追跡 チームの作業(市民データベースとして公表)を参考にして作成。

1996年4月23日第三種郵便物認可 毎月2回1日、15日発行

1996年4月23日第三種郵便物認可 毎月2回1日、15日発行

核兵器・核実験モニター 第454-5号 2014年9月1日